

## 創造科学技術大学院について

創造科学技術大学院長

永津 雅章

平成 18 年度の設立以来、既に 8 年半が経過し、本創造科学技術大学院もこれまでに 253 名の学位取得者を社会に輩出するとともに、数々の教育研究活動を展開して参りました。これらの活動内容につきましては、毎年度発刊しています創造科学技術大学院教育研究活動報告書においてご報告をさせていただいておりますので、ご笑覧賜れば幸甚です。

本大学院は、我が国でもユニークな、工学系、情報系、理学系および、農学系の教員で組織された一つの博士後期課程の大学院です。博士課程学生が所属する自然科学系教育部では、ナノビジョン工学専攻、光ナノ物質機能専攻、情報科学専攻、環境・エネルギーシステム専攻、およびバイオサイエンス専攻の 5 つの専攻（入学定員 50 名）で構成され、社会のニーズに応えるべく、複合学際的な教育研究を目指し、時代に即応した幅広い素養と特化した専門知識及び国際性豊かな知識を有する先端技術者及び研究者を養成することを本大学院の教育理念・目的とし、教育研究を実践して参りました。

平成 26 年度までの入学者数（国費外国人留学生を含めた数）は、平成 18 年度 57 名、平成 19 年度 51 名、平成 20 年度 54 名、平成 21 年度 53 名、平成 22 年度 55 名、平成 23 年度 71 名、平成 24 年度 51 名、平成 25 年度 61 名、平成 26 年度 57 名と、毎年、定員を上回る入学者を受け入れることができましたことは、一重に構成員の先生方の教育にかける熱い思いとご尽力の賜物と深く感謝する次第です。

さて、本大学院の博士学位の取得状況につきましては、平成 20 年 9 月に 2.5 年次の早期修了生 1 名に第 1 号の博士学位を授与して以来、平成 26 年 9 月末までに学位を取得した課程修了生の総数は 253 名を数えます。なお、論文博士は、現在までに 6 名の方々に学位を授与致しました。今後も、益々、本大学院の教育理念を实践すべく、さらに質の高い教育研究を行うとともに、社会の要請に応えられる若手人材の育成に努めて参りたいと考えております。

創造科学技術大学院では、設立以来、多くの留学生を受け入れて参りました。留学生数は、平成 18 年度 11 名、19 年度 14 名、20 年度 15 名、21 年度 21 名、22 年度 25 名、23 年度 34 名、24 年度 20 名、25 年度 34 名、平成 26 年度 33 名と平成 21 年度以降は毎年 20 名以上の留学生の受け入れを行っています。平成 18 年度に採択されました文部科学省「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」での 6 年間にわたる毎年 5 名の国費留学生の受入れ、さらに平成 22 年度に採択されました振興調整経費「環境リーダー育成プログラム」における留学生受入れ枠毎年 5 名も、本大学院の国際化に向けた取り組みの大きな成果でもあります。平成 24 年度に改めて募集のありました「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」につきましても、留学生受入れ枠 8 名の採択をいただき、今

後 5 年間の国費留学生の受入れが可能となりました。

中東欧やアジア地域の主要大学との協定締結にも積極的に取り組み、2006 年以来、創造科学技術大学院が主体的に関わった大学間協定数は、15 大学を数えます。また、協定大学と静岡大学の双方からの学位取得を目的としたダブルディグリー特別プログラム（DDP）制度を、本大学院の前身である電子科学研究科において、わが国でもいち早く実施し、これまでに 12 校の協定大学との間で DDP 制度の覚書を締結し、これまでに 7 名の DDP 学生に博士学位を授与しています。現在、10 名の DDP 学生が本大学院に在籍しています。

研究面では、本学が重点領域と位置付けている 4 つのテーマのうち、自然科学系の極限画像科学、グリーン科学技術、ナノバイオ科学の 3 つのテーマは、創造科学技術大学院の教員が中心となって研究活動を進めています。なお、平成 23 年度において創設された静岡大学第 1 期および第 2 期卓越研究者、若手重点研究者制度では、称号を付与された教員のうち、大多数が創造科学技術大学院の構成員となっており、本学の研究力の根幹を担っています。

最近の重要な取り組みとしましては、学位取得者に対するキャリアパス支援に関するキャリア創造特別講演会を開催したことが挙げられます。これらの講演会の様子を、大学院のホームページにて公開しておりますので、是非ご覧下さい。さらに、キャリアパス支援の取り組みを強化・展開させるべく、平成 24 年度において名古屋大学との連携による文部科学省「ポストドクター・キャリア開発事業」に申請し、採択を頂くことができました。優秀な修士課程学生を創造科学技術大学院に進学・入学させるためには、修了後のキャリアパスを明確に示すことが必要です。本事業の採択により、ポスドクのみならず、博士課程学生のキャリア支援の道を切り開く絶好の機会となるよう、大学院としましても地域の企業や本学同窓会からの協力を得て、さらにキャリア支援体制の充実を図っていきたくと考えております。また、創造科学技術大学院の修了生に対する同窓会組織「同窓生の集い」を設立し、大学院ホームページ上において修了生と大学院教職員との双方向のコミュニケーションが可能なシステムを立ち上げました。

今後、創造科学技術大学院の特色を活かした複合学際的な教育研究を推進するとともに、地域社会からの期待に応え、さらに国際的に評価される質の高い教育研究の推進に向けて、本大学院の構成員が一体となって取り組んでいく所存です。

皆様のご指導、ご鞭撻をどうぞ宜しくお願い申し上げます。